

創立100周年に向けて
記念企画準備本格スタート！
新世紀募金でご協力をお願いします。

この2月22日に、2020年11月18日の100周年の創立記念日まで、あと1,000日となりました。

この大きな節目を、輝かしい伝統を受け継ぎつつ新たな発展を図るきっかけとすべく、学校を中心に同窓会・振興会の協力を得て、さまざまな取り組みを計画し、その準備作業を本格的にスタートさせます。

この100周年記念企画は、老朽化したプールや弓道場の改修新設を含む大きなプロジェクトになります。つきましては、すでにスタートしている新世紀募金の使途に、この企画を加え、より一層のご協力をお願いしたいと存じます。新しい時代に、より輝きを増す学校となるよう皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

校長 小村 彰

新世紀募金へ募金額

総額 126,123,261円

学校との関係別件数 *計:726件

[区分]	[件数]	[金額]
●卒業生	523	120,506,500
●在校生・保護者	160	2,486,243
●法人	11	1,850,000
●一般	5	260,000
●その他	27	1,020,518

使途別件数 *計:749件

[使途]	[件数]	[金額]
●教育環境の整備	434	115,360,761
●生徒の奨学資金	112	4,891,000
●クラブ活動支援	203	5,871,500

単位:円/平成30年1月31日現在

●募金にご協力いただいた方のご芳名は、ホームページに掲載させていただいております。(匿名ご希望の方は除きます)

- これまでの主な使途
- ▶ 海外研修実施中 生徒1名がカナダ、教員1名がイギリスで研修中です。
 - ▶ 学校グラウンド整備 西半分の土を入れ替え、元気になりました。
 - ▶ ipad 購入 従来の50台に、さらに50台加え、英語の授業で活用中です。
 - ▶ 遠征費用の援助 クラブが活躍し、昨年夏は遠征費が大幅に超過しました。
 - ▶ 生徒の就学支援 今年度は中学生25人高校生96人に計6,738,675円の支援をしました。

「新世紀募金」お申し込み及び
払い込み方法

① 金融機関

添付の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、お近くの金融機関でお手続きください。

② インターネット

学校のホームページに特設ページを開設しています。ページにアクセスし、案内に沿ってお手続きください。

*ホームページ <http://www.tosa.ed.jp/>

*現金書留による送金や学校窓口での現金による受け付けも行っております。

募金の種類

①一括募金

一口1万円で、1口以上を原則とします。

➤ 振込用紙利用、またはインターネットからお申し込みください。

②継続募金

一口1年5000円、一口以上で3年以上継続を原則とします。

➤ インターネットからお申し込みください。

2001円以上の寄付金は、
所得控除または税額控除の対象となります。

募金申し込み方法などはホームページをご覧ください。口座振込用紙のお申し込みや募金についてのお問い合わせは、事務局までお願いいたします。



| お問い合わせ |

土佐中・高等学校 [新世紀募金会事務局]

☎ 088-833-4394



since 1920

土佐中・高等学校
[新世紀募金会事務局]

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10

☎ 088-833-4394 ☎ 088-833-7373

✉ kifu@tosa.ed.jp

<http://www.tosa.ed.jp/>

100周年記念企画
支援募金 START!

土佐中・高等学校

新世紀募金

新世紀募金ニュース No.4

| ご支援のお願い・ご報告 |

栄えある100年から、
さらに輝く新世紀へ。



土佐 100年

創立100周年記念企画



©デハラユキノ

100年史の編纂・発行

100周年創立記念日の発行を目指して、本校100年史の編纂作業が進んでいます。宮崎大学大学院の湯田拓史准教授を中心とするグループ(計5名)が2011年から準備を始め、次第に概要が固まりつつあります。この100年史は、学校・同窓生をはじめとして、広範に資料を蒐集し、本校の正史として、学術的観点からの検討にも耐え得るものを目指しています。以下、現時点で示されている本の概要です。

通史編

現時点での仮の章立てと各節(1章4〜7節)の中のタイトル(仮題)の抜粋

- | | |
|--------------------|------------------|
| ■第1章 草創の時代(大正期) | 第3節 初代校長と教員たち |
| ■第2章 基礎確立の時代(昭和初期) | 第5節 学徒勤労働員の実態 |
| ■第3章 終戦から戦後教育改革の時代 | 第2節 クラブ活動の開始 |
| ■第4章 充実の時代(〜昭和47年) | 第7節 本校入試状況の変化 |
| ■第5章 発展の時代(〜平成元年) | 第2節 学習指導と生徒指導の変化 |
| ■第6章 100周年を迎えて | 第2節 生徒と保護者の動向 |

回顧・展望編

ランダムに抽出された卒業生1,000名にアンケート用紙を送付。入学の動機や在学時の思い出などについての質問項目に回答をお願いしています。

年表

80周年記念誌の年表に補足・追加。

資料編

職員録・校舎配置図・入学者動向・卒業生動向など

記念式典

1 創立100周年 記念式典

- 2020年11月18日(時刻未定)／本校体育館
- 同窓会代表・振興会代表・各界来賓をお招きし、中高生徒全員が参列

2 記念祝賀会

- 2020年11月18日(午後6時)／ザ クラウンパレス新阪急高知
- 同窓会代表・振興会代表・各界来賓・教職員参加

3 記念講演会

- 2020年9月〜11月
- 各界著名人を招き、中・高の生徒向けに講演

記念事業

1 記念歌の制作

- 歌詞は高校2年生が作詞(別掲)、現在作曲依頼中です。

2 運動部の招待試合

- 2020年6月〜11月にかけて随時実施

3 記念の発表会・展示

- 音楽系のコンサートや美術系の展示など文化部の発表と100年の歴史を物語る記念品などの展示を2020年夏頃から

4 新施設の建築

- 老朽化した弓道場・プールを併設する施設を現校地に建設
- 五輪終了後建築需要が一段落した時点で速やかに設計・建築に着手。できれば、その中に生徒・保護者・卒業生が共有できる室も併せてつくりたいと考えています。

学校の新たな取り組み

海外研修を土佐の「当たり前」にします

新年度は初めての試みとして20人の生徒がニュージーランドに12日間の研修に出かけます。今後、こうした海外研修を毎年の恒例の行事として定着させ、土佐から世界を目指す生徒の意欲を高めていきます。

ICT導入を進めます

大学入試新テストの実施、新学習指導要領への移行に対応すべく、とくにICT環境の整備・充実を引き続き図っていきます。具体的には、大学入試で求められる活動記録の自己申告のためのポートフォリオや英語四技能のスピーキングに対応できるよう、ハード・ソフト両面の環境を整備していきます。

部活をますます元気にします

文武両道の一方の柱を担う部活動のさらなる発展を目指して、外部指導員の増員や部活動の遠征の支援などをより積極的に行っていきます。とくに、2020年全国総文祭に向けて、文化部活動の充実発展に取り組んでいきます。

生徒、家庭への支援を充実させます

現在週に1回来校してもらっているスクールカウンセラー(SC)には、たくさんの相談が相次ぎ、ほとんど空き時間がない状態です。さまざまな困難や悩みを抱える生徒・保護者の皆さまの相談に対応できるよう、SCに加えて、新年度からスクールソーシャルワーカー(SSW)に週1回来校してもらい、保護者の方と学校や外部機関との連携など、より広い視野で生徒の支援を行っていくことにしました。また、今年度から正式に学校医として新たに精神科の医師と契約しましたが、新年度からより一層緊密に連携をとって、生徒のこころの健康を図っていきます。

100周年記念歌〈歌詞〉

*作詞／藤本理子(高校2年Oホーム)

遠くへたたる 時を超え
 先ゆく人の声がきこえる
 自由であれ 諦めるな 自分を信じる
 報恩感謝を 忘れずに
 今 新たな一歩を 踏み出そう
 明日が 見えない 日もある
 自分が わからなくなる時だってある
 それでも 決して逃げない 自分でやりたい
 伝統の 学び舎で
 私達は 見出していこう
 何かを 光射す方へ旅は続く

大地に 根を張る 雑草は
 弱音を はかない
 どんな時も 自立した心と 自由の精神を
 自分を 磨いていこう
 きつと いつか
 私達の 時代が やってくる
 世界を 動かす日が くることを信じ
 歩んで行こう
 一時の失敗も成功への道行き
 必ず朝は来る
 全ては土佐に循環(めぐ)る

寄付のお願い

新世紀募金に【100周年企画支援】の項目を追加し、今後5年間で3億円を目標に寄付を募ります。

